

事業の概要

1 常設展示

常設展示を構成する資料

(昭和58年度中展示延点数)

区分	実物資料 及び標本類	ジオラマ機器 模型類	カラー透視写真 及び写真	図板	計
地学	685	22	13	28	748
生物	1,375	39	32	38	1,484
歴史	462	8	31	27	528
民俗	205	1	69	31	306
美術	204			4	208
合計	2,931	70	145	128	3,274

(1) 地学展示室 (258㎡)

- 本県の地形と地質の全貌と特徴を各種の模型で展示。
- 県内の地質時代の出来事を岩石の分類と偏光投影観察装置を使用し解説。
- 鳥取県とその周辺産出化石並びに各地質時代の化石（三葉虫、アンモナイトほか）。
- 古生物を中心にした各地質時代の景観復元ジオラマ7景。
- 鉱物の特性を結晶系と化学組成分類にて解説、また県内外の有用鉱物を鉱床と関連づけて展示。
- 温泉の地下地質と湧出する機構を示す模型の展示。
- 紫外線の照射による蛍光鉱物の発光実験。
- 各種ウラン鉱物の展示と放射能測定の実験。
- 砂丘と大山の地質的特徴とその生成発達の解説展示。

(2) 生物展示室 (257㎡)

- 大山と砂丘の生物の垂直および水平分布とその特性を解説展示。
- 岩礁の生物の生態と分布（ジオラマ）を解説展示。
- 中国山地の代表的な植生景観と動物の生態展示（ジオラマ）。
- 頭足類、甲殻類、魚類の分布解説と分類展示。
- オオサンショウウオの卵から成体までの発育過程と飼育展示。
- 鳥類の生息環境による分類と生態を解説展示。
- 県内産のけものをはじめ外国産の鳥獣の展示。
- 貝類の生息環境による分類とくに、海産は南方、北方などの海域別に展示、ほかに陸産、淡水産の展示。
- 昆虫の分類展示（チョウ、ガ、甲虫、セミ、トンボ、ハチ、バッタ類など）。
- 植物の分類展示（樹幹、シダ、海藻、およびキノコ）。薬用植物の解説展示。

(3) 歴史民俗展示室 (515㎡)

従来の考古、民俗、史料の展示室を統合して、歴史民俗展示室とし、郷土の歴史を系統的に理解できるよう展示を再構成する展示改善を本年度から5か年計画で実施中である。

〈狩猟から農耕へ〉

- 縄文時代の遺物（土器、石器、骨角器）と生活の解説展示。

- 弥生時代の遺物（青銅器、土器、石器）及び文化交流などの解説展示。

〈古墳とその時代〉

- 古郡家一号墳をはじめとする古墳の一括資料の解説展示。
- 古墳時代の生活用具の復元展示（かまど三点セットなど）。
- 県内出土の須恵器の分類展示。
- 県内出土の代表的なはにわ（鹿、家、水鳥など）の展示。
- 銅鏡、各種玉類、武具、馬具などの展示。
- 梶山古墳彩色壁画のカラー写真パネルと出土遺物の展示。

〈奈良・平安の因伯〉

- 古廃寺出土の軒丸瓦、仏足、瓦経などの展示。
- 伯耆国分寺跡出土の風鐸の展示。
- 経筒寺経塚出土品の展示。
- 国宝三徳山三仏寺投入堂模型（10分の1）

〈戦乱の時代〉

- 因伯の荘園と武士団の分布図及び伯耆国河村郡東郷庄下地中分図写真パネルの展示。
- 中世遺跡出土、鰐口、青磁小壺、白磁五輪花皿、青磁青炉、青磁盤の展示。
- 新興寺文書及び伝名和長年像写真パネルの展示。
- 二上城及び鳥取城跡出土の陶磁器片、瓦、鳥取城下図（模写）の展示。
- 鳥取城模型（600分の1）の展示。
- 梵鐘二口（廃阿代寺、国英神社）の展示。

〈生活の中の道具〉

- 江戸時代末期から明治時代にかけて分布した広間型農家の一部を復原し、生活用具を配して展示。
- 稲作農具を稲作作業の進行にしたがって展示。
- 灯器を、発生的分類により初期の電球まで展示。
- 日用品、交易、化粧、食器その他の日用品の分類展示。
- 行器（ほかひ）、婚礼に使用された各種のつものたるなどの展示。

〈伝之継ぐ心〉

- 年中行事、県内の代表的な民俗行事を季節により写真と資料によって解説展示。
- 芸能娯楽用具として、人形芝居、きりん獅子、郷土玩具、影絵などを解説展示。

〈歴史の窓〉

- 池田光政書状（59.1.5～3.11）
- 鷗尾（59.3.13～3.31）

(4) 美術展示室（260㎡）

- 平安時代から鎌倉時代の国、県指定の仏像、仏画を展示。
- 江戸時代の鳥取藩絵師等の掛幅、屏風並びに本県出身作家の作品を展示。
- 本県出身の彫刻家の作品をロビー等に展示。

主な展示資料 ●重要文化財 △重要美術品 ○保護文化財

〈絵画〉

山水花鳥図屏風	土方稻嶺	本館蔵	群鯉図	小畑稻升	個人蔵
牡丹小禽双鳩図	〃	個人蔵	○群鯉遊泳図	黒田稲臈	本館蔵

千匹鯉図	黒田稲臯	本館蔵	樹木青嵐図	中島菜刀	個人蔵
春秋野草花図	沖 九臯	個人蔵	○両界曼荼羅図 (絹本)		智頭町豊乗寺蔵
秋景山水画賛	正埦適処	〃	十二天図 (絹本)		〃
宇治川先陳図	沖 一峨	〃	釈迦十羅刹女図 (絹本)		〃
瀑布図	根本幽峨	本館蔵	五大明王図 (絹本)		用瀬町大安興寺蔵
旭日老松遊鶴図	〃	個人蔵	愛染明王図 (絹本)		〃
○猛虎図	片山楊谷	〃	○釈迦十六善神図 (絹本)		〃
山水画賛	土方撲斎	〃	不動明王図 (絹本)		個人蔵
雪中山水図	島田元旦	〃	涅槃図 (絹本)		鳥取市興禅寺蔵
源義家図	橋本秀峰	〃	涅槃図 (絹本)		西伯町宝禅寺蔵
菊の図	菅 楯彦	〃			

〈彫 刻〉

○大日如来坐像 (木造)	若桜町永福寺蔵	●十一面観音立像 (金銅仏)	大山町大山寺蔵
○稻荷像 (木造)	倉吉市円谷地区蔵	勢至菩薩立像 (木造)	河原町観音寺蔵
四天王像 (木造)	東伯町槻下地区蔵	鉄仏十一面観音立像	西伯町加祥区蔵
蔵王権現立像 (木造)	岩美町観照院蔵	鉄仏聖観音立像	〃
●観王音菩薩立像 (金銅仏)	大山町大山寺蔵		

〈工 芸〉

梵鐘	岩美町網代地区蔵	擬宝珠 (二口)	関金町地藏院蔵
密教法具	本館蔵	節太刀	鳥取市栲谿神社蔵
備前焼壺	個人蔵	金字法華経 (巻二、巻四)	鳥取市大雲院蔵
染織布	鹿野町護伝寺蔵		

〈ロビー展示〉

つどい	長谷川塊記	本館蔵	塞拾	辻 晋堂	個人蔵
裸	早川魏一郎	〃	鶏と女	〃	〃

(5) 野外展示

古墳時代の石棺、力石、岩石、植物を野外展示した。

(6) 新着資料コーナー

新しく収集した主な資料を紹介した。

部 門	展 示 テ ー マ	期 間	展 示 資 料
生 物	鳥類の剥製	58.4.9~58.6.19	ブッポウソウ、ヤマセミ、コミミズク、カイツブリ
生 物	外国産の鳥類とほ乳類	58.6.21~58.9.21	ベンガルヤマネコ、ミケリス、ガラパコスペンギン、カラヤマドリほか
生 物	鳥類の剥製	58.9.22~59.2.9	トビ、フクロウ、アオバズク、ヨタカ
生 物	頭骨標本	59.2.10~59.3.31	イノシシ、キリン、シマウマ



ヤマセミ

● 催物展

(1) 前田寛治 — 油彩と素描 —

会期 昭和58年4月9日～6月26日

会場 第3展示室

前田寛治の初期から晩年までの変遷を館蔵資料を中心に系統的に構成して展示紹介した。

展示資料

〈初期の作品〉

山陰の家並 (1917)

マイハウス (1917頃)

男の横顔 (1920)

引田芳蔵氏像 (1920)

畑 (1921) 当館蔵

子供 (1921頃)

花と子供等 (1921) 当館蔵

〈滞欧中の作品〉

風景 (1923～25)

パリ風景 (1923～25)

静物 (1923～25)

工場風景 (1923～25)

工場内部 (1923～25)

労働者 (1923～25) 当館蔵

労働者 (1923～25)

立てる労働者 (1923～25)

〈帰国後の作品〉

自画像 (1925頃) 当館蔵

福本和夫氏像 (1927) 当館蔵

棟梁の家族 (1928) 当館蔵

裸婦 (1928頃) 当館蔵

仰臥裸婦 (1926) 当館蔵

横臥裸婦 (1928) 当館蔵

伏臥裸婦 (1928)

〈女性像〉

子供 (1920頃)

少女 (1922頃)

立てる子供 (1922)

赤い帽子の少女 (1923～25) 当館蔵

少女 (1923～25) 当館蔵

西洋婦人像 (1923～25)



ダリヤ (1922頃)

バラ (1921頃)

山に見える風景 (1921)

繻帯をした男 (1923～25) 当館蔵

彫刻家の肖像 (1923～25)

物を喰う男 (1923～25) 当館蔵

赤えりセーターの男 (1923～25)

男の像 (1924) 当館蔵

風景 (1923～25)

青年 (1923～25)

花 (1929)

子供の顔 (1929)

海 (1929)

裸婦習作

裸婦習作

花

花

グルターニュの女 (1923～25)

西洋婦人像 (1923～25) 当館蔵

少女座像 (1927) 当館蔵

少女と子供 (1927) 当館蔵

白い服の少女 (1928) 当館蔵

〈素 描〉

Ⅰ期（4月9日～5月8日） 裸婦など18点

Ⅱ期（5月10日～5月29日） 裸婦など16点

Ⅲ期（5月31日～6月26日） 風景など18点

(2) 堀家資料 — 儒家堀家をめぐる人々 —

会 期 昭和58年11月1日～11月20日

会 場 第3展示室

堀家資料は鳥取藩の御儒者であった堀家に伝わるもので、鳥取藩の文化史、幕末史の解明に欠くことのできない貴重な資料である。この資料が堀家の子孫から県に寄贈されたのを機に堀家資料の全体像を紹介した。



主な展示資料

〈町医師 堀杏庵〉

堀三之助改名届（旭穂）、堀杏庵宛三宅又輔書状、堀杏庵書上、論語解譯（堀周珉写本）ほか

〈御儒者 堀省齋〉

歌器図、池田齊訓一行書「摩利支天」、神農図、耀国公御系譜草稿、中庸試論ほか

〈鳥取藩の書道〉

堀省齋書、中村元儀書、建部撰齋書、小谷蕨書、伊良子大州書ほか

〈堀静軒と池田冠山〉

池田冠山書「静軒」、堀静軒書上、堀静軒日記、堀静夫子詠草、堀静軒公事心覚ほか

〈老女 谷河〉

尾嶋書上、尾嶋婦国日記、谷河書状、振袖、銀ギセル、銀菓子箸、谷河和歌短冊ほか

〈幕末の志士 堀庄次郎〉

堀敦齋日記、堀庄次郎贈位記、堀庄次郎公事心覚、尚徳館御改正以来日記、京都詰中日記、敦齋詩稿
安達清一郎書状、岡嶋正義書状ほか

〈貞女 堀竹〉

たけ女の道の記、堀竹書、堀竹表彰祝賀短冊、堀竹像（木炭画）ほか

〈そ の 他〉

堀絹熙日記、土方稲嶺画、根本幽峨画、狩野探信筆「虎図」ほか

2 特 別 展

(1) 世界の児童画

主 催 鳥取県教育委員会 鳥取県立博物館

後 援 鳥取県各市町村教育委員会

会 期 昭和58年4月29日（金）～5月29日（日） 月曜日休館

会 場 第1展示室 第2展示室

入館者 10,356人

入館料 一 般 200円（団体 150円）

高 校 生 100円（団体 80円）

小・中学生 50円（団体 20円）

子どもの絵は子どもの心、の視点に立って、世界各国の子どもたちの作品を鑑賞し、その表現に対する理解を深め、あわせて国際意識の向上に役立てようと、幼児から中学生までの子どもたちの絵画・版画など約800点（県内・国内300点、海外500点）を展示。

〈成長する子ども〉

幼児から中学生にいたる間の、さまざまな表現の特徴や変化について、外国の子どもたちの作品や、同じ子どもの成長に応じたそのときどきの作品をまじえながら展示。

〈日本の子ども・北から南から〉

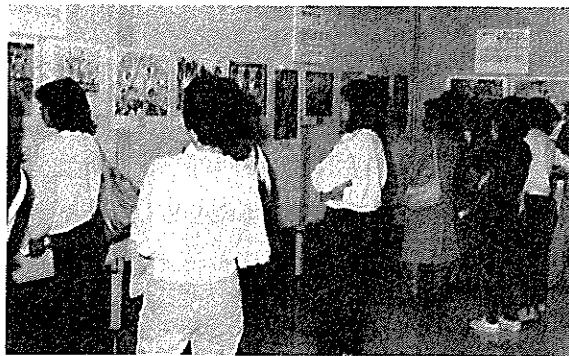
動物と共に・遊びの中で・家のまわり・働く人・子どもと四季・空想の世界など、子どもたちの感動と興味の表現を、全国からの作品を使って展示。

〈力をあわせて・共同制作コーナー〉

それぞれの力をあわせて作り出す作品の中にも、子どもたちの創造力は鮮やかに発揮されます。このコーナーには、版画作品を中心とした共同制作による作品を展示。

〈海外の児童画〉

ヨーロッパをはじめ、アジア、南北アメリカ、アフリカ、オセアニアの各州にわたり、世界のおよそ100か国の4歳から15歳までの子どもたちの作品、約500点を展示。



(2) 地球のふしぎ — 未来をひらく鉱物の世界 —

主催 鳥取県教育委員会 鳥取県立博物館

共催 日本地学研究会

日本化学会中国四国支部

後援 鳥取県各市町村教育委員会

会期 昭和58年7月16日(土)～8月21日(日)

月曜日休館

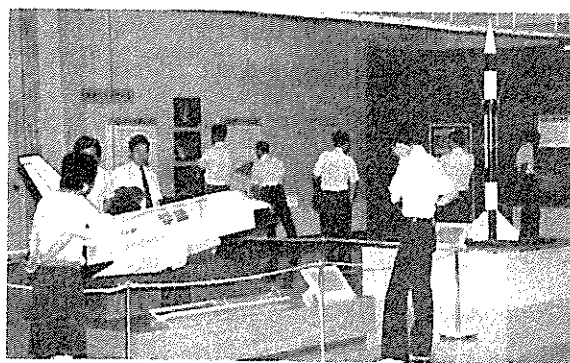
会場 第1展示室 第2展示室

入館者 8,105人

入館料 一般 500円（団体 400円）

高校生 300円（団体 200円）

小・中学生 200円（団体 100円）



鉱物は地球の形成課程を知るために重要な手がかりを与えてくれるものである。また、人類が文化を築き上げるためには、鉱物が必要不可欠なものであり、遠い過去から現在までその利用と開発に力を入れてきた。さらに、それは未来へ向かって重要な意味をもっている。このような観点に立って鉱物への関心と理解を深めていただくためにこの特別展を開催した。

主な展示資料

〈宇宙の中の地球〉

イン石各種、月の石、月球儀、スペースシャトル・オビター模型、カッパ1型ロケット、気象衛生ひ

まわり模型、人工衛星写真、フーコー振り子。

〈地球は生きている〉

火山岩類、地球断面模型、地震計測定実験、鳥取県の震源立体観察、海洋地形立体視図、海洋地殻物質、化石メソサウルス、日本列島の地下構造模型

〈岩石と鉱物〉

火成岩・たい積岩・変成岩各種、造岩鉱物各種、化学組成別にみた鉱物各種、各晶系の結晶、いろいろな結晶、結晶の観察、マグマ性・たい積性・変成の各鉱床に含まれる鉱物、鳥取県の鉱床と鉱石、有機鉱物・粘土鉱物・ケイ化木など

〈くらしの中の鉱物〉

鉄・銅・アルミニウム等の鉱石とその金属並びに用途、砂鉄実験、石灰石の利用、工業薬品と鉱物、体に必要な鉱物、鉱物と家庭用品、宝石の原石とその利用、飾りになる鉱物

〈未来をひらく鉱物の利用〉

ケイ石、純粋なケイ素、ケイ素の単結晶、シリコンウエハー、IC、LSI、マイコン、産業用ロボット、鉱石ラジオ、アモルファス太陽電池、光ファイバー、原子炉模型、人工水晶、水晶振動子、セラミックエンジン、フェライトの原料と利用

(3) 辻 晉 堂 展

主 催 鳥取県教育委員会 鳥取県立博物館

後 援 鳥取県各市町村教育委員会

会 期 昭和58年9月23日(金)～10月23日(日)

月曜日休館

(但し10月10日は開館、11日休館)

会 場 第1展示室 第2展示室 第3展示室

入館者 5,767人

入館料 一 般 500円 (団体 400円)

高 校 生 300円 (団体 200円)

小・中学生 200円 (団体 100円)



陶彫という魅力ある造形分野を確立し、現代彫刻界に独自の位置を占めた辻晋堂（1910年溝口町生れ）は、1981年8月18日、病のため急逝した。三回忌を迎えるにあたり、京都国立近代美術館との共同企画により、その生涯の業績を回顧する展覧会を開催。

出品目録

〈彫 刻〉

首 (1938)

出家 (1939)

こども (1940)

夏のあした (平櫛先生古稀像) (1941)

村の男 (1941)

詩人 (大伴家持試作) (1942)

野良の父と子 (1942)

琵琶を弾く男 (1949)

裸婦 (1951)

坐像 (1952)

旅から旅へ (1954)

寒山 (1954)

鼯々鼯々 (1954)

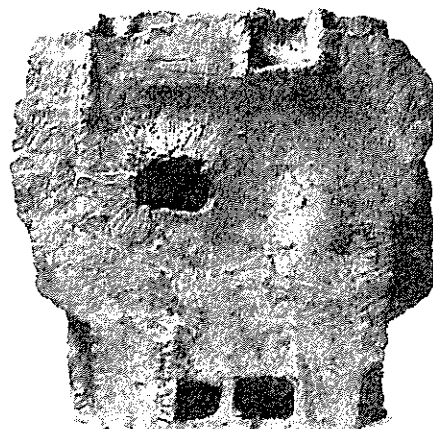
トルソ (1955)

時計 (1956)

時計 (1956)

猫 (1956)
猫の頭 (1956)
顔 (寒拾)(1956)
鳥 (1956)
禁煙 (禁煙の名人)(1956)
沈黙 (1957)
迷盲 (1957)
人間 (椅子に座っている人物)(1957)
山の人 (山の男)(1957)
馬と人 (1958)
牡牛 (牛)(1958)
寒山 (1958)
拾得 (1958)
拾得 (1958)
詩人 (これ我か我に非ざるか)(1959)
縄文 (1960)
樵夫と熊 (1960)
詰込主義教育を受けた子供 (1960)
詰込主義教育を受けた子供 (1960)
拾得 (1960)
托鉢僧 (1961)
拾得 (1961)
寒山 (1961)
寒山 (1961)
拾得 (1961)
木樵のからだ (1961)
颱風の四角な目とムカデ (1961)
小判型と七つの小窓 (1962)
東山にて (1962)
並んで歩く人 (1963頃)
寒山 (Han-shan)(1964)
寒拾 (Kan-Jyu)(1965)
目と鼻の先の距離について (1965)
目は口であり口はまた目である (1965)
ホケット地平線 (1965)
ホケット地平線 (1965)
ホケット地平線Ⅲ (1965)
歩く壁 (1965)
轉變 (1965)
非化Q (1967)

拾得 (1967)
タオスにて (1969)
ワシ (1974)
イザウ (1974)
雲自水由 (1974)
カラカサのオバケ (1974)
カラカサのオバケ (1974)
カラカサのオバケ (1974)
ポーシをかぶるオンナ (1974)
イシカハノカヒニマジリテ (1975)
平曲 (井野川検校)(1975)
拱手自像 (1976)
山房清韻 (1976)
平曲 (井野川検校)(1976)
詩人と家族 (八木重吉)(1979)
潰鐘形象 (1977)
潰鐘形象 (1977)
櫻姫東文章 — 風鈴お姫 (1977)
櫻姫東文章 — 釣鐘権助 (1977)
イタイイタイ (1978)
冬心芝生 (1978)
天下泰平家内安全 (1979)
マネキネコのマネ (1979)
緑陰讀書 (1979)
平曲 (1980)



寒 山 (1961)

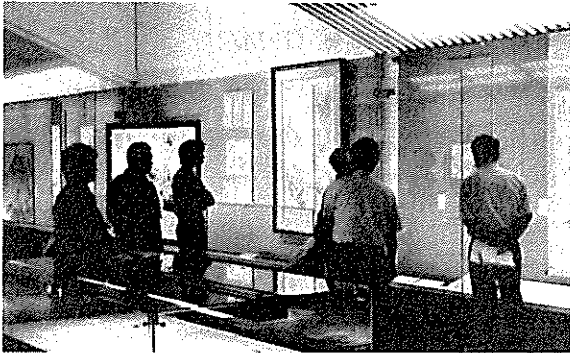
芭蕉 (1980)	樹 (1956)
尺八を吹く男 (1980)	猫の頭 (1956)
清水一滴氏像 (1934)	猫の頭 (1958頃)
少女頭像 (1939)	天国 (天園) (1961)
隼 (1939)	樵夫と熊 (1961)
黒田氏像 (甚三郎) (1939)	薄暮の階段の石にすわるシッド (1962)
少女 (1940)	九つの窓 (1964頃)
鶏と女 (1943)	カマボコ人間 (1967)
少年と鶏 (1943頃)	オンナのカホ (1974)
岸澤惟安老師像 (1944)	カラカサのオバケ (1974)
観音像 (1945頃)	座看東山暮雲動且聽鴨漚流水囁 (1975)
井原西鶴 (1946)	佐々木惣一氏像 (1976)
近藤寿一郎氏像 (1946)	出碓房 (1977)
光木氏像 (久夫) (1947)	寒拾 (1978)
横本氏像 (巳三郎) (1949)	合掌 (1979)
K氏像 (1950)	泥古庵 (1979)
下田氏像 (光造) (1951)	老人の日の老人 (1979)
立像 (1951)	地神経 (1980)
坐像 (1952)	風鈴お姫 (1980)
母と子 (1954)	釣鐘権助 (1980)
寒山拾得 (1955)	天橋望見 (1980頃)
猫の頭 (1956)	
〈版画・素描〉	
無題 (1957)	二奇漢 (Yagi and Shimomura) (1967)
枯木 (1957)	寒拾 (1967)
頭 (1958)	寒山拾得 (1967)
空言 (1958)	大きな口 (1967)
作品 (1962)	作品 (1967)
作品 (1963頃)	作品 (1967)
作品 (1966)	遠くを見ている自画像 (1971)
作品 (1966)	老人の日の老人 (1972)
自画像 (1966頃)	挿画のための版画1
タオスにて (1966)	挿画のための版画2
Adobe (1966)	挿画のための版画3
作品 (1966)	挿画のための版画4
へんべい人間に非ず (1966頃)	樹 (1958)
長い長い行列 (1967)	枯草 (1958)
〈模 型〉	
古代人のように (1971)	

3 教育普及活動

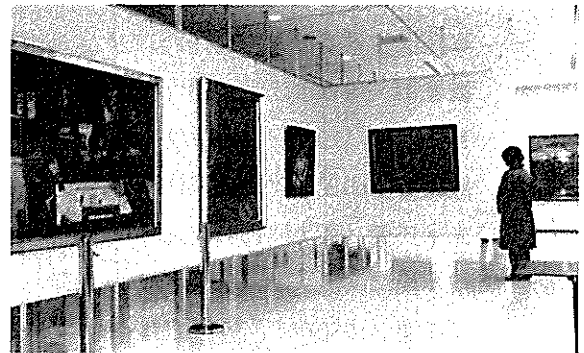
博物館活動の一環として、巡回展、見学会・採集会、講演会等を実施した。

(1) 巡回展

展覧会名	期 間	場 所	入場者数	内 容
鳥取県の日本画	58.7.24～8.21	倉吉博物館	1,457人	稲嶺、稲阜ほか 31点
鳥取県の絵画	58.11.25～12.5	米子市美術館	1,653	前田寛治ほか 54点
合 計			3,110	



鳥取県の日本画 倉吉博物館



鳥取県の絵画 米子市美術館

(2) 天体観望会、見学会等

事業名	期 日	場 所	対 象	参加人数
野鳥の声を聞く会	58.5.14	鳥取市 樗谿公園	児童、生徒、一般	28人
史跡を訪ねる会	5.22	米子市目久美遺跡	〃	42
京の文化を訪ねる旅	6.18・19	京 都	〃	41
星を見る会	7.29	博物館前庭	〃	53
	8.9	〃	〃	105
キノコを調べる会	10.15	鳥取市 久松山	〃	90
古美術見学会	10.16	東伯町 法輪寺	〃	67
地質見学会	11.6	日野町 後谷	〃	19
合 計				445

(3) 講習・講座

事業名	期 日	内 容	対 象	参加人数
お母さんの博物館教室	58.8.3	江戸時代の庶民生活	児童をもつ母親	10人
	8.10	お盆の話	〃	10
	8.17	古代人の生活	〃	6
親と子の博物館教室	8.7	智頭町、種子植物・昆虫の観察と標本のつくり方	児童及びその親	48
標本の名前を調べ	8.24	夏休みに採集した動植物などを調べる	児童・生徒	230
郷土史講座	10.15	城下町周辺の工場 近世後期の都市近郊農村	一 般	38
博物館大山教室	10.22・23	大山青年の家 大山の自然・歴史・美術	児童・生徒	53
合 計				395

(4) 講演会

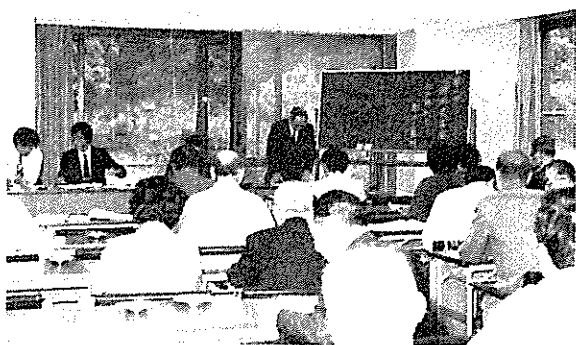
演 題	講 師	月 日	対 象	参加人数
子どもの発達と表現	鳥取大学助教授 浜本 昌宏	58.4.30	児童・生徒・一般	70人
江戸時代の公害と鳥取藩	和歌山大学教授 安藤 精一	6.11	〃	76
山陰の古代製鉄タタラについて	鳥取大学教授 岡 宗雄	7.24	〃	53
地球を化学で探る	東京工業大学教授 一國 雅己	7.31	〃	56
座談会 辻督堂=人と芸術=	博物館協議会委員 山本 兼文	9.24	〃	10
合		計		265



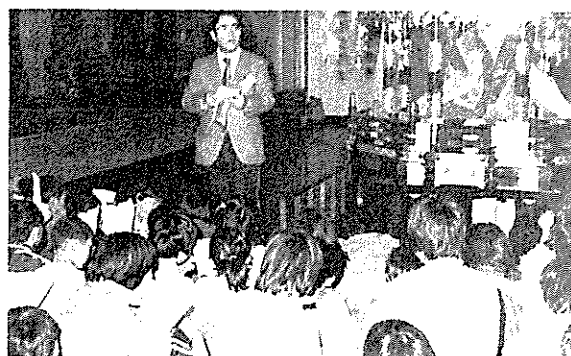
野鳥の声を聞く会



キノコを調べる会



郷土史講座



博物館大山教室

(5) 資料の貸し出し

資 料 名	点数	規 格	貸付期間	貸 出 し 先	使 用 目 的
絵画「海 女」ほか	4	浜田台見作	58.5.24 ~6.15	読売新聞社	浜田台見展
磨製石斧ほか	8		58.7.13 ~8.2	淀江町教育委員会	古代展
放送衛星ゆり(模型)ほか	3		58.8.2 ~9.1	NHK鳥取放送局	夏休みのこども放送局 (一般公開)
イノシシ(ハク製)ほか	2		58.9.16 ~11.26	鳥根県立八雲立つ風土記の丘	特別展 古代人の衣・食・住
絵画「少女坐像」ほか	2	前田寛治作	58.9.21 ~11.12	朝日新聞社	近代洋画の歩み展
月の石(レプリカ)	1		58.10.18 ~10.22	鳥取市	先端技術産業展
円筒植輪ほか	5		58.10.20 ~12.6	倉吉博物館	特別展 古墳の時代
写真パネル	16	鳥取県の年中行事	58.10.25 ~11.8	若桜町教育委員会	民俗行事紹介
写真パネル	36	〃	58.10.27 ~11.8	会見町公民館	鳥取県の年中行事紹介
化石 イノストランケピアほか	13		58.11.10 ~11.14	用瀬町公民館	文化祭
合 計	90				

4 調査研究活動

(1) 調査研究

分野	事項
地学	八頭郡佐治村辰巳峠産中新世種子植物化石の分類・同定を行い目録にまとめた。 (化石資料目録8) 八頭郡中央部の大山火山層と段丘の関係を調査(研究報告21) 日野郡日野町後谷鉱山付近の地質調査と鉱物採集(郷土と博物館27巻2号)
動物	寄贈・採集により収集したクモ類標本を整理し、目録にまとめた。(クモ類目録) ショウジョウバエ類の調査・研究(郷土と博物館29巻2号)
植物	生駒標本(寄贈資料)の整理 資料の適切な保管・利用方法についての研究
歴史	県内所在中世文書調査 田中裕氏寄託文書の調査整理 岡崎平内家文書の調査、目録作成 追放入帳の研究(郷土と博物館29巻2号) 八橋郡西紙屋文書の調査整理(資料調査報告11号)
民俗	民俗行事(栖岸寺双盤念仏、亥の子、鳥追い)の調査研究並びにビデオ収録 栖岸寺双盤念仏について研究(研究報告21号) 第4次郷土視覚定点資料の収集整理
考古	59年度特別展「はにわ」実施のための資料調査・研究 館所蔵小型土器について研究(郷土と博物館29号1号)
美術	郷土ゆかりの近世画家の調査・研究 近代鳥取県美術家の調査・研究 社寺所蔵資料の調査(郷土と博物館29巻2号) 早川幾忠の作品調査 59年度特別展「芸術院所蔵資料」調査 59年度特別展に伴い稲垣稔次郎、小合友之助作品調査

(2) 研究報告書等の刊行

名称	規格	ページ数	発行部数
年報 No.11 (昭和57年度)	B 5	32	500部
郷土と博物館 第29巻第1号	A 5	28	1,000
〃 第29巻第2号	A 5	32	1,000
鳥取県の自然と歴史(6)「鳥取城」	A 5	52	1,000
所蔵資料目録 31「化石資料目録8」	A 5	54	500
〃 32「くも類目録」	A 5	23	500
研究報告 第21号	B 5	62	500
資料調査報告書「八橋郡西紙屋文書」	B 5	20	400
博物館だより No.21~24	B 5	各 4	各 2,000